

東海試験地あれこれ

公益財団法人 日本植物調節剤研究協会
東海試験地 主任 松尾昭彦

1. はじめに

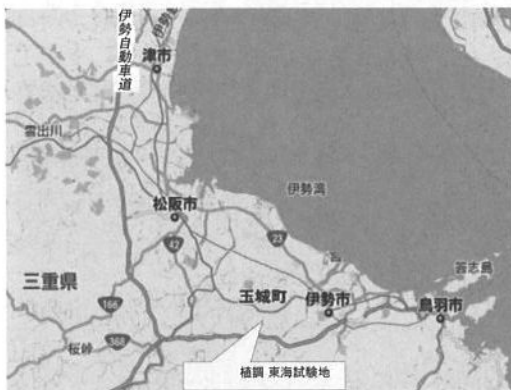
私達の郷土『三重県度会郡玉城町』は、伊勢平野の南部で、『伊勢神宮の伊勢市』と『松阪牛の松阪市』のほぼ中間に位置しています。

伊勢市は、伊勢神宮を中心に観光産業が発展し現在に至っています。

玉城町は、延元元年（1336年）北畠親房が田丸城（今は石垣のみ）を築き城下町として、また熊野や大和と伊勢を結ぶ街道の宿場として栄えたそうです。

現在は、伊勢自動車道が町を横断し、東海試験地から約3 kmのところ玉城I.Cがあります。車で伊勢市へは15分、松阪市には30分で、人口15,000人余りの農村地帯です。

町の中央部にJR参宮線の田丸駅があり、当試験地は駅南東1 kmのところ玉城に位置した江戸時代に開拓された集落です。当時から大きな水源



がなく、畑作（麦、葉たばこ、かんしょ、西瓜、だいこん等）を基幹とした営農が長年展開されてきました。昭和30年代後半、農業者の他産業への流出、宮川用水の通水による水田化等で、徐々に露地野菜や葉たばこを中心とした営農から稲作中心の営農へと変化しましたが、現在でも慢性的な水不足に悩んでいる地域です。

2. 東海支部現地試験圃から東海試験地へ、そしてGLPとの出会い

平成17年（2005年）3月

三重県中央農業改良普及センターを定年退職。上司としてお世話になった植調東海支部の生枝支部長さんから『農業試験を手伝ってもらえませんか？そんなに難しいことはないから・・・』こんな趣旨のお誘いを受けました。

当初は『圃場や倉庫、農機具とヒマはあっても、試験用の器具類、部屋、そして何よりも、私の研究職の経験が3ヵ年で試験手法の自信もないし・・・』と戸惑いがありました。そのうちに『なんとかなりそうな様子だな』というふうに考えるようになりました。

最終的には、水利が不便なため畑作の作物残留試験を東海支部の現地試験担当者として受けさせていただくことになりました。

平成17年（2005年）5月～

キャベツの作物残留試験からスタート。

平成 17 年 (2005 年) 6 月～

基幹施設は一般農業用倉庫として設計建築した倉庫のため、休憩室を事務室に改良し、新たに小さな計量室も設置、各種器具類(ピベツ、メスシリンダー、計量カップ、上皿天秤、デジタル秤、肩掛け少量散布器具等)の購入で最低限の試験実施体制づくりを進めました。

建物の用途別床面積

設備等の名称	階数	床面積		
		GLP区域	非GLP区域	計
事務所・作業舎	地上2階	計82.6㎡	計57.4㎡	計140.0㎡
事務室	1階	13.5㎡		
計量室	1階	3.5㎡		
薬剤保管庫	1階			76.5㎡
作業場	1階	59.5㎡		
作業機保管庫	2階		57.4㎡	
器材保管庫	2階	6.1㎡		63.5㎡

平成 21 年 (2009 年) 4 月

植調東海試験地と名称変更されました。

平成 22 年 (2010 年) 8 月

当植調協会がGLPに適合した施設として認定されるための、GLP査察(FAMIC)を受けました。

平成 23 年 (2011 年) 10 月

作業倉庫を一部改良しました(2階吹き抜け部分約6㎡をGLP器材保管庫として増床、1階では棚設置等)。

3. 農薬作物残留試験の取り組み

平成17年度	キャベツ	1剤、	小麦	3剤
平成18年度	キャベツ	1剤、	小麦	3剤
平成19年度	かんしょ	2剤、	小麦	1剤
平成20年度	かんしょ 小麦	2剤、 2剤	キャベツ	1剤
平成21年度	かんしょ 小麦	1剤 (GLP試験) 3剤 (内1剤GLP試験)		
平成22年度	かんしょ 小麦	2剤、 1剤	だいこん	1剤
平成23年度	温州みかん かんしょ	1剤 (GLP試験) 1剤 (GLP試験)		
平成24年度	未成熟とうもろこし だいこん	1剤 (GLP試験) 1剤 (GLP試験)		

4. 抑草剤現地試験

平成 19～20 年

2薬剤について周辺農家とともに対応しました。

5. 試験圃場の運営管理

登録試験圃は4圃場15,708㎡で、これらの圃場はそれぞれ3分割し、NO.1-A, NO.1-B, NO.1-Cと表示しています。県道沿いとか、区画の小さい10a前後の圃場は除外しました。土性はいずれも埴壤土です。

圃場の作付け体系は、小麦→小麦→小麦→キャベツ→水稲の4年5作体系が基本です。また、小麦は営農集団に経営委託しています。

果樹は知人の果樹園を借り上げて試験しました。

6. 作業と労力

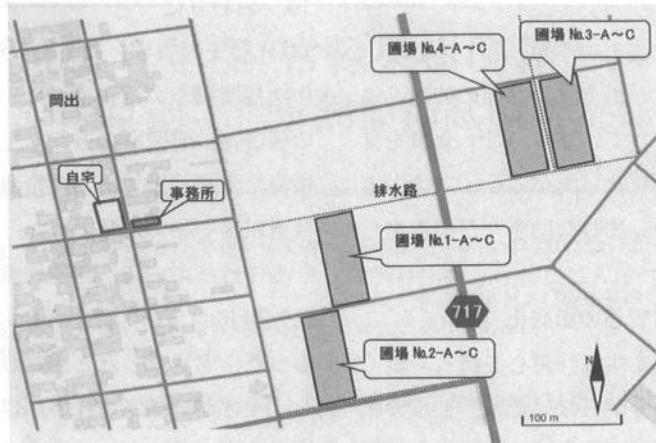
私と妻が中心ですが、昔の仕事仲間5名の方々とその奥さん1名に協力してもらっています。小麦の刈り取り、脱穀調整、かんしょの植え付けや蔓きり、そして掘り取りなどの作業は一時に多くの労力と慎重な作業が要求されます。

『あわてず、急がず』『念には念を』『もう一度確認』『急いで事は仕損じる』を合言葉に余裕を持った人員で対応しています。手当は時間給、待遇は次官級です。また、花見会や夫婦での旅行等、日常の相互連携を取り入れて楽しみも共有するよう心がけています。

7. 植調協会の事業推進会議・GLP定期研修等

先輩諸兄や研究所の方々と会議や雑談の中から、自分の試験地に採用や応用できる素材を見つけた嬉しさは書き表せません。

私は少人数で作業していますので、どうしても自分の枠に入ってしまう。これらの会合



「事務所と圃場」

は、自分の枠をはみ出す貴重な機会となっています。植調協会の研究所、福岡と岡山の試験地での研修会は大変有意義でした。

8. GLPの試験地での成果

- (1) 電子天秤、自動ピペットで計量の高精度化、炭酸ガス散布器で均一散布ができるようになったと思います。
- (2) SOP (標準操作手順書) に基づいて試験をすることにより、試験ごとの技術が平準化したと考えています。
- (3) 普段の生活態度が最近少し変わってきた、これはGLPのせいだと家内に言われます。よくメモをするし、倉庫内外の整理整頓がよくなったようです。反面、短気になり、よく怒るそうです。私は年のせいだと思っていますが・・・。



事務所前でのツーショット

9. 業務推進上の課題等

(1) 予想外の天候

薬剤処理日の降雨や夕立に悩み続けています。処理前はインターネットで天気予報とにらめっこの数日が続きます。万が一の対策として、試験区に予備区を設定していますので少し安心です。

また、以前に接触型除草剤の畦間処理で風によって薬害を出したことがありました。

風対策として、飛散防止カバー付ノズルの使用と併せて、作業の時間帯に気をつけています。

春から秋の薬剤処理は、風や上昇気流が出てくる前の午前8時頃には終了するようにしています(冬期は、霜柱が溶けて土の表面が乾き、歩きやすくなってから薬剤処理をします)。

被験物質の計量・調製と散布器点検の早朝作業を始め、『朝めし前の薬剤処理』となります。作業が終わって『朝シャワー・朝食』は爽快です。

(2) 従事者の高齢化

東海試験地の作業員の平均年齢は66歳です。今のところ、これで大きな問題は発生していませんが・・・。

逆に夏期の早朝の薬剤処理に苦情の出ない年

年齢層でもあります。

(3) パソコンの操作能力の不足

図表作成や成績まとめで技術二課の皆さんに随分ご迷惑をおかけしています。Win Shotを覚えてから少し楽になりましたが……。また、本年4月から私より少しましな助手？が付きましました。

(4) 試験圃場の栽培管理の徹底化

周辺農家は試験圃を常に好奇心を持って見ています。試験内容が分からないため、彼らの試験に対する評判・評価は、均一な作物生育や雑草管理などの試験圃管理そのものです。周辺農家の評判・評価を上げるために、栽培管理や雑草管理の徹底が肝要ですが、夏場の雑草は成長が早く、広い圃場のため苦慮しているのが現実です。

10. おわりに

『光陰矢の如し』退職後7年が経過しました。作物残留試験の手引きを片手に、植調技術二課の皆さん、研究所の方々、生杉支部長等に出張指導や携帯電話によるご指導を受けながら作物残留試験を始めた私でした。

今では、あの時、作物残留試験を東海支部現地試験担当者として、受けさせてもらってよかった、幸せだったと感謝しています。なぜなら、生きがいのある仕事が自宅で取り組み、全国の方々と仲間の輪の中に入れてもらえたからです。

筆を置く前に、劣等生の私を育てていただいた植調本部の方々、研究所の皆さん、全国の試験地の先輩各位、そして生杉支部長に紙面で失礼ですが厚くお礼申し上げます。

新登場!!
ホクコー
エーワン

1キロ粒剤・フロアブル・ジャンボ

雑草を白く枯らす!
ノビエを長く抑える!
SU抵抗性雑草・
特殊雑草に高い効果!

2成分で雑草撃退!




水稲用一発処理除草剤

強力な2つの成分

新規成分
雑草を白く枯らす
テフリルトリオン
AVH-301

ノビエを長く抑える
オキサジクロメホン



取扱 全農 製造

北興化学工業株式会社

① 農薬登録 第4702318号

エーワンは北興化学工業(株)の登録商標